



9月30日  
東地申12号

## 2020年度ダイヤ改正検証についての申し入れ 【東京車掌区】団体交渉を行う!(その1)

1. 平日12行路が長時間勤務のため、12行路便乗1846E~1569Eを31行路の前に付け、31行路便乗1853E~便乗1576Eを22行路1552Eの後に付け、改善を図ること。
2. 227行路・229行路における長時間乗務の是正と、平日11行路の東京場面での乗り継ぎ僅少を改善すること。

【回答】列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

会社:他の行路とのバランスもある。引き続き改善に向けて検討していく。

次期ダイヤ改正で同じようなダイヤであれば、示された代案で変更可能である。

3. 東京駅総武B4フロアに喫煙所を増設すること。

【回答】駅の乗務員詰所に喫煙所を設置する考えはない。

会社:通達に則って取り扱っているため、設置する考えはない。

喫煙の指定場所はない。最寄りを使ってもらうことになる。一番近くでは丸の内車掌区である。

健康増進法に基づいて、通達は作成されている。意見が出ていることはあげていく。

4. 207行路の出勤時間を下げることを求めたが、その後どのようなようになったのか明らかにすること。また、日勤8時30分以降の出勤を基準とし、前後の出勤を同数とすること。

【回答】列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組合:出勤時刻を下げることはできるのか。

会社:列車ダイヤの影響を大きく受けている。他区との持ち替えも検討したが、大きく変更しないと持ち替えは難しい。東京車掌区だと、260行路と差し替えは可能だが、短時間行路を使う社員もいるので、引き続き意見を聞きながら慎重に検討していく。現状のダイヤでは、207行路の出勤時刻を下げるができない。

ダイヤ改正で行路の持ち替え、ダイヤの変更あれば、1分でも2分でも下げていく努力はしていく考えである。いたずらに早い時間の出勤を増やすつもりはない。

組合:居流しの後に持っていければ、早い時間の出勤の解消につながる。交番順序のあり方について検討する余地はあるか。

会社:交番については区所の方で設定しているので、意見交換してほしい。



9月30日  
東地申12号

## 2020年度ダイヤ改正検証についての申し入れ 【東京車掌区】団体交渉を行う！（その2）

5. ジャパンレールパスWeb販売サービス開始に伴い、ジャパンレールパスが指定席券売機と自動改札機対応となることを踏まえて、利用者に対して指定席事前交付の周知を実施すること。

【回答】 必要な周知は行っていく考えである。

会社：非接触型の発券は必要であると思っている。各箇所で工夫した案内が作成されている。

定着できるような宣伝は必要だと感じている。

組合：今、海外からのお客さまが来ないときだからこそ、準備を万端にして迎えていくための大事な準備期間と位置付けられるが、支社の認識はどうか。

会社：準備時間としては必要だと思っている。ホームページに詳しく載せている。パスを引き換えに来たお客さまにパンフレットをお渡しする。MVへの引換えや自動改札機で通れることも書いてある。関係箇所とも協力して進めていく。

組合：社員周知や教育について、今後訓練の中などで行わせる考えはあるのか？

会社：周知は必要と考える。訓練も含めて現場で相談してほしい。

6. お客さまに安心してご利用していただけるよう「成田エクスプレス」「サンライズエクスプレス」の新型コロナウイルス対策について具体的対策をとること。

【回答】 東京支社危機管理本部指示に則り取り扱っている。

組合：東京支社危機管理本部指示に則りとあるが、具体的にどのようなことがあるのか。

会社：車両の消毒方法として、消毒に効果があるもので拭き掃除を行なっている。

組合：お客さまに安心して利用していただくためには、抗ウイルスコーティングも今後必要になってくると思うがどうか。

会社：効果が確認されていない。やることに意味があるのかもしれないが、抗菌性が確認された後には検討する余地がある。現段階では、清掃の中で消毒を行っていく。

組合：サンライズエクスプレスについては、どうなのか。

会社：JR他社と統一して何かやっていくということはない。なお、田町車両センター入区後に消毒清掃を行なっている。

組合：座席の回転について、JR他社ではTwitterやホームページでご遠慮するようにお客さまへ周知がされているが、JR東日本では見受けられない。感染リスクを低減させるために会社として周知すべきと考えるが認識はどうか。

会社：現段階では考えられていない。



ホームページ



Twitter

9月30日  
東地申12号

## 2020年度ダイヤ改正検証についての申し入れ 【東京車掌区】団体交渉を行う！（その3）

7. 2047Mは千葉以遠において運転時分が詰まっているため、30秒から1分遅れが常態化している。そのため、2047Mにおける千葉～成田空港間の運転時分を見直すこと。

【回答】引き続き状況を把握していくとともに、関係支社と調整していく。

会社：千葉～成田空港間の中で、特にどの部分が遅れるのか知りたかった。意見をもとに関係支社と共有し、列車ダイヤに検討できるのかは意見を受けた上で調整していきたい。

8. E261系サフィール踊り子において発生している「4号車ヌードルバーの水回り」「車内秩序の維持」等の問題を解決すること。

【回答】車内秩序については維持されていると認識している。なお、4号車調理室用シンクの排水については改修済みである。

会社：原因はシンク下の殺菌装置のドレンホースから排水が漏れていた。ドレンホースを強い物にするなど防水使用の対策を行った。それ以降、同種事象は発生していない。

組合：プレミアムグリーン車への見学が多い。ステッカーを貼る対策はできないか。

会社：現場も含め、車内見学しているお客さまが多い認識はなかった。乗務日報や乗務報告書、サービスメモでの報告や現場管理者にも言っていただきたい。ステッカーは、デザインの関係もあり簡単にはできない。

組合：無札のお客さまが乗ってくる。会社として対策も考えてほしい。

会社：無札が多いことは認識している。報告書に書いてほしい。様々対応考えていく。

9. 成田空港駅、空港第2ビルに設置されているロープ式昇降柵について現場では故障がほとんどないとされているが、E217系では通信不良が発生し、分離モードでの取り扱いがたびたび発生している。ロープ式昇降柵の成果と課題を明確にし、オリンピック・パラリンピックを見据えた対策を講じること。

【回答】昇降式ホーム柵の導入により、お客さまに安心して安全にホームをご利用していただいていると認識している。引き続き状況を把握していくとともに、関係箇所と連携していく。

組合：分離モードが発生している原因は何か。

会社：原因を究明中、調査中である。地上側、車両側にそれぞれに原因がある場合もある。

組合：異常時に関する乗務員への教育、訓練が不足している。

会社：不安な点は現場に言っていただきたい。

組合：シミュレータも活用した訓練もできないか。

会社：必要に応じて行っていく。